

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

三八安心住宅

グループの名称

大規模地震に耐えうるエコ住宅を考える会

直近採択グループ番号

04-0316-0040

(グループ代表者)

代表者名

牛木 秀一

代表者印

代表者所属先

八戸トヨ一住器株式会社

代表者所在地

青森県八戸市新井田字出口平24-1

代表者電話番号

01-7825-9777

(グループ事務局)

事務局事業者名

八戸トヨ一住器株式会社

事務局担当者名

牛木 秀

印

事務局郵便番号

031-0813

事務局所在地

青森県八戸市大字新井田字出口平24-1

事務局電話番号

01-7825-9777

事務局FAX

01-7825-9780

事務局担当者E-mail

hachitfc@deluxe.ocn.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	0棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	長期優良住宅等の活用したい場合、グループ事務局に事前申請し、事務局は申請のあった順で配分します。2棟目以降はグループで承認してから配分します。1棟目や未経験工務店を優先して行います。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 三八安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 大規模地震に耐えるエコ住宅を考える会	(結成年) 2016 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0316-0040	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地震対策のために耐震等級2、寒さ対策のために住宅・建築物の省エネルギー基準の3地域よりワンランク上の性能を持った住宅とします。さらに開口部計画を立て、日射を考慮します。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	住宅は木造の気密住宅とします。新築時や完成後数年経ってからも、太陽光システムを屋根に設置出来るような屋根形状を計画します。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	冬期の日射取得を考慮し、南面に大きめの窓を設置します。	○
④①～③の背景	青森県八戸市を中心とするこの地域は、冬期間に雪は少ないものの、気温が低く、風が強いため、体感的にはとても寒い地域です。さらに、三陸はるか沖地震や東日本大震災の引き金となった東北地方太平洋沖地震でも被害のあった、地震の多い地域です。ただし、冬期間に雪の少ない分、日照環境の良い地域でもあります。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループの住宅の開口部の断熱性能を保持するため、断熱サッシでLow-eペアガラスもしくはLow-eトリプルガラスのアルゴンガス又はクリプトンガス入り仕様のサッシを使用します。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	開口部は尺モジュールの関東間を採用する。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 毎月の定例会開催時に検討委員会を開催する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人不足が発生した時に、グループ内で情報を共有し、職人不足を補う。	○
b	耐久商材などが適正に使用されているか確認していただくため、出荷・品質証明を建築主(買主)に引渡しまでに提示する。	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建設中に第三者機関のチェックを行い、適正にすすめられているか確認する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築主(買主)が見積書を見て判断出来ないような一式表記をせず、見積りは詳細の表記をする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築主(買主)に住宅の引渡しを行う際に、住宅及び設備機器の取扱い説明を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 三八安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 大規模地震に耐えるエコ住宅を考える会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0316-0040	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで内容・蓄積の共通ルールを作成する。	○
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関の住宅履歴情報サービスの活用を検討する。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報をデータ化し、事務局、各工務店、建築主(買主)で共有する。	◎
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで共通の長期の保全管理基準を作成し、引渡し後1年、3年、5年、7年、10年で定期点検を実施し、事務局へ報告を行う。	○
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築主(買主)の指摘や定期点検の際に発生した補修等は、適正な補修を行い、事務局へ報告する。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検・補修の報告書を作成し、事務局へ報告する。事務局は確認と書類の保管を行う。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回開催する事務局の展示会において、住まい管理の勉強会をOB施主向けに開催します。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回開催する事務局の展示会において、DIY体験会をOB施主向けに開催します。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年1回開催する事務局の展示会において、相談会をOB施主向けに開催します。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月の定例会開催時に、維持管理委員会を開催します。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設備機器については、引渡し時に施主様にメンテナンス方法を伝える。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの住宅生産者は住宅瑕疵担保責任保険を利用する。グループ内での倒産の際に事務局で会員を招集し、今後の対応を協議する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 昨年度までに経験している工務店の現場見学や、合同現場研修会を開催し、グループ全体として施工技術の向上を図る。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの各工務店の実現場で状況を確認しながら、施工経験のある住宅生産者が講師として、説明を行う研修会を開催します。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 研修会の議事録を作成し、事務局でデータとして保管する。	○
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年までには新築の超省エネ技術の習得、2030年までには改修を含めた超省エネ技術の習得	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術力向上に関する案件には全業種参加を基本とする。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会の開催日を毎月の定例会で報告し、省エネ技術講習会への参加促進をする。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 水道光熱費シュミレーションを導入し、ランニングコストを施主に分かりやすく伝える。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 三八安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 大規模地震に耐えるエコ住宅を考える会	(結成年) 2016年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0316-0040	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	構造材(梁、桁、柱、土台)は地域材を使用する。
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 主要構造材 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 原木供給→製材所→建材流通(→プレカット)→施工店
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月の定例会で地域材の在庫について報告し、グループ内で共有する。
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局と建材流通、住宅生産者が情報を共有し、現場予定が分かった段階で建材流通から製材、プレカット業者に地域材の在庫を確認する。
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 1畳換算 80枚
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 3×6換算 15枚
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の伝統工芸品を住宅に活用出来ないか検討を重ねる。
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 南部曲り屋と現代住宅のコラボレーションの検討を重ねる。
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 切妻屋根を基本とし、三八地域の標準的な住宅デザインを融合させる。
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 簾、葎簀を再活用し、日射遮蔽を行う。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域に合わない色は極力使用しない。
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室は真壁作りの継承を促す。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	グループの地域型住宅供給対象地域として東日本大震災の被災地域含んでいるため、その地域への住宅供給は復興に資する取り組みとなります。
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	東日本大震災の経験を活かし、熊本での困りごとに対する情報の提供をする。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 三八安心住宅	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 大規模地震に耐えうるエコ住宅を考える会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0316-0040	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

青森県八戸市を中心とする地域の住宅で、冬期間の寒さ対策のために、高気密・高断熱の住宅となるように性能を高めます。(一次エネルギー消費量の低炭素基準をクリア) さらに、「節水対策」、「エネルギーマネジメント」、「ヒートアイランド対策」、「躯体の低炭素化」に対応出来る低炭素化に資する措置を講じます。